



# 小網代通信

発行：小網代ヨットクラブ  
〒238-0225  
神奈川県三浦市三崎町小網代  
1385-18  
編集：広報委員会  
編集長：里吉美恵子  
連絡先：office@koaziroyc.jp

Koaziroyc Club

2023年7月号 VOL-301

2023.7.10 発行

今月の内容		ページ
連絡事項	(編集委員) .....	1
沖縄クルージング報告	(SPIRIT of TOKYO 梅根 耕二郎) .....	2~4
今後のイベント予定		
7月 KFR	: 7月 16日 (日) 相模湾オープンと合同開催 (帆走指示書をご確認ください)	
総務委員会	: 7月 18日 (火) 19:00~ ハイブリッド(リアル会議と Zoom 会議)で実施	
クルージング委員会イベント	: 7月 22日 (土) から 23日 (日) 保田行き (日帰り参加も可能)	
小網代子供会体験乗船会	: 7月 30日 (日) 予定 (協力艇募集中)	

## 連絡事項

1. 6月18日(日) ハーバー整備及びクラブハウス内清掃を行いました。

37艇からの参加があり、皆様と一斉作業しました。お陰で予定通りの内容が完了いたしました。クラブハウスにおいては、コロナ禍で使用していなかったキッチン周りの清掃やバーベキュー用品などのチェックも行いました。これから本格的な夏が到来します、クラブの皆さんが気持ちよくクラブハウスを利用できる準備を整えることができました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



2. 今年の“夏祭り” 8月26日(土曜日)を予定！！

久々の夏祭りが開催できそうです。このところの暑さを考えて、暑さ対策も考慮しながら、多くの参加者が楽しく過ごせるように夏祭り担当者は今から準備を始めています。待ち遠しいですね。

3. クルージングイベント(クルージング委員会 主催)

6月開催は台風の影響で中止。7月22日(土)~23日(日)に同企画で開催予定。7月12日申込締切。

4. 小網代子供会から体験乗船会の希望があり、久しぶりに復活予定。

依頼ご希望日が7月30日(日)ということで、参加ご協力いただけます艇を募集しています。また、お手伝いできる方も募集しております。子供会担当 <CYNTHIA>大柴氏からの募集案内(7/3付けメンバー ML218にて)が出ておりますので、連絡をお願いいたします。事務局宛でも取次いたしますので、ご協力よろしくお願ひします。

## 沖縄クルージング報告

SPIRIT of TOKYO 梅根 耕二郎

本年4/5月に実施した沖縄久米島までの航海報告をいたします。

当該航海は3年前に実施予定でしたが、新型コロナで2年間延期、昨年はトラブル発生（サイドステー切断、冷却水浸水）で計画変更と3年越しの計画達成となります。数字でまとめると、航海期間は40日、機帆走時間は314時間（9.8時間/日）、航海距離は2034NM（64NM/日）。停泊地は魚港が21か所、ヨットハーバー2か所。訪問した島嶼は本州四国を除き12島で、世界文化遺産が1か所（琉球王国のグスク）、世界自然遺産が2か所（屋久島、奄美大島・徳之島）含まれています。航海日誌の抜粋をまとめたので、全体のイメージをつかんでいただけたらと思います。

4/18 初日（小網代→下田） 昨年夏の青森以来のロングクルーズだが、久しぶりに海に出た時の皆のうれしそうな笑顔が印象的。

4/19（下田→福田） 早朝は西13-15m/sの風だが、午後には10m/s程度に落ちる予想で出港。真正面からの風とうねりに叩かれ神子元島と田牛港間の岩礁近くで強い逆潮に会い船速が急に1ktに減速。いったん下田に戻り風が落ちるのを待つ。

4/22（五ヶ所湾→串本） 出港後湾内はかなり強いブローがあり、湾外でセールを上げるもジブファールの調子が悪く、ジブがステーに絡まり修理箇所からジブが破ける。15m/sの追い風でメインセールだけでもあの重いSP東京が波に乗り、11ktを越えて爽快。室戸岬経由で土佐清水へ。

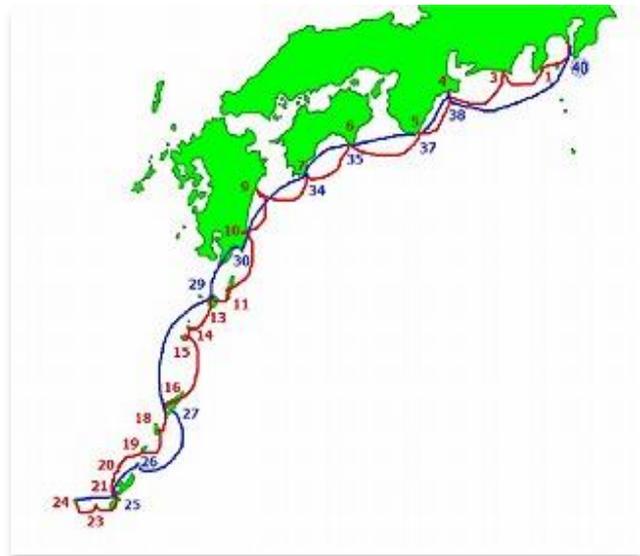
4/25（土佐清水） 本日は予備日。宿毛市のテント屋に車で行きジブセールの修理を依頼。具合が悪かったジブファールも整備して機能回復。

4/26（土佐清水→門川） 3ポイントリーフで出港するも豊後水道のブローで13-19m/s。左舷デッキが常時波で洗われ、スプレーを浴びつつあと何時間耐えればいいのかとの心境。ヨット乗りが求めている非日常的体験だが、さすがに too much。さらにスプレーでiPad電源がショートしNavionicsが使用不可になる。

4/28（油津→種子島） 種子島の右手に馬毛島が見える。南西諸島防衛力強化で米軍向け空母艦載機の訓練場を建設しており、仮設栈橋用の工事クレーンが確認できる。

4/30（種子島→屋久島） 昨晚通過した前線の影響で白波混じりの短周期のうねりが正面からSP東京に容赦なく打ち付け、あっと思った瞬間にドジャーを越える大波が我々を一撃。と同時にバックアップのNEW PEC用PC画面が真っ暗に。3台目のPCで屋久島の一湊港に向かうが、今度は入港前にPC電源ケーブル異常でバッテリーが切れと散々。入港後、携帯電話にNavionicsをインストールしナビゲーションに使用。

5/1（屋久島→中之島） 出港時に宮の浦岳から朝日が昇り神々しい気分になる。吐鳴喇（トカラ）海峡の黒潮本流はできるだけ直角に横断すべく口永良部島に寄ってから横断するが、追い風もあり船速7ktは確保。入港後、県警の制服を着た駐在官がスクーターでやってきて質問を受ける。風呂を教えてもらい防波堤の切れ間の道より海岸側に掘立小屋を見つける。風情ある乳白色の硫酸鉄塩温泉。地元の人は無料だが入口の箱にSP東京3名連名で1000円を寄付。



5/2 (中之島→悪石島) 悪石島に近づく急峻な山島で海岸線に岩がごろごろ。なるほど、島名の由来が「石が落下してくる島」であると理解。入港すると極めて小さな漁港で漁船が4隻。岸壁にはライジャケを着た子供たちが釣りに。間くと島の小・中学校の遠足で学校の生徒数は15名、教職員11名と島の人口78名の1/3。自然豊かで教師との濃密な関係を築けるのがよさそう。

5/4 (奄美大島名瀬港) 本日は予備日。野菜が安く東京の半値。産地を聞くと奄美ではなく隣の徳之島とのこと。離島は物価が高いと思っていたが違っていた。湯口さんが待望のiPadを持って現れたが、故障したiPadの防水ケースに数ミリ合わない。

5/5 (奄美大島→徳之島) 曳釣り「飛行機」の後ろでキラッと光るものがみえた。長さ1メートルのスリムで口の大きい魚。ゆっくりと引き上げたが最後に暴れて逃がした。魚は「かますサワラ」でテグスが食いちぎられていた。亀徳港は両サイドが珊瑚礁で、水深も浅く中からのうねりが大きい。正面の導灯に導かれて極めて狭い入口から船留りに入り係留。

5/6 (徳之島→沖永良部島) オカリナ型をした島の南側に沿って走る。隣の与論島と共に沖永良部島は隆起サンゴ礁の島なので海岸線全体で石灰岩の白さが目立つ。

5/7 (沖永良部島→伊平屋島) 当初の沖縄運天港から、より近くで安全な沖縄島20マイル北の伊平屋(イヘヤ)島に目的地を変更。入港ルートはNavionicsで確認したがサンゴ礁の浅瀬が多く分かり難く3本の公設灯標を頼りに入港。近くの売店で公民館の風呂を紹介され指定時間に行くが誰も来ない。島時間なのでゆっくり待っていると、別の人が公民館を開けシャワー室まで案内してくれた。島の人たちは皆、実にやさしい。問題は彼らの言葉がほとんど分からず聞き取れないこと。



5/8 (伊平屋港→沖縄宜野湾) 本日ははいはいは目的地の沖縄島。

伊平屋島近くの海は所々できれいなマリンブルー。沖縄島の南部へと艇を進めると上空を飛んでいた飛行機が旋回して高度を下げていく。米軍機と嘉手納基地と分かる。入港目標の赤灯標#2近くでセイルを下ろすが、近くには多くの赤緑灯標があり極めて分かり難いが無事に入港。指定されたゲストバースにいれやと落ち着く。3週間掛かったが無事に沖縄島に到着した。夕食は近くの居酒屋にしようと言っていたが、スーパーで地元の惣菜が目には入り、豚肉煮付け、テビチ煮(豚足煮)、ゴーヤチャンプル、海ぶどう、グーブリチー(昆布炒め物)など購入。結局船で夕食。その後、皆疲れているため爆睡。

5/9(沖縄宜野湾) 本日は予備日。竹田さんが代替ジブセイルを持参し、早速セットして一安心。夜は居酒屋で乾杯。

5/10 (宜野湾→渡嘉敷島) 入港後レンタカーを借り赤間山に登る。東西展望台の間に集団自決地があることを知った。説明文に1945年3月の米軍上陸や住民の集団自決の詳細が記載されている。たまたま取材に来ていた琉球新報の記者が慰霊碑の前で黙祷している我々3名の姿を撮影したので新聞に載るかも。



5/11 (渡嘉敷港→久米島) 早朝、岸壁にいたカメラを首から下げたおじさんが望月さんと話をしている。「50歳台ですか」。ヨットマンは若く見られる。渡嘉敷島と儀志布島間のCoral reefから真っ赤な日の出が目眩しい。この朝日に向かってSP東京が出港。久米島の仲里漁港はサンゴ礁を掘削して作った港なので、海面のマリンブルーが鮮やか。



5/12 (久米島→沖縄島宜野湾) 久米島から真東に延びるサンゴ礁に沿って走っていると、漁船のような小さな影が見える。ダイビングスポットを調べるとこれらのポイントと一致。日出前に久米島から10kmも離れているポイントまで、ダイビング用ボートが10隻以上来ていた。

5/13 (宜野湾→与論島) 入港前の与論島沖で、太平洋戦争で沖縄の海で亡くなった兵士の御霊に献花を捧げた。

5/15、16 (奄美大島→屋久島) 本日はオーバーナイト。係留していたせとうち海の駅の岸壁は陸側は浅くピットの幅も狭いため、バックで外に出て大島水道を西に向かう。世界自然遺産である大島水道対岸の加計呂麻島と奄美大島は緑に覆われた起伏のある地開が美しい。真夜中、口之島沖での風は西 3 - 4m/s だが黒潮に乗り船速 8 - 9kt 出ている。前方には淡い赤紫色の上弦の月が現れ実に幻想的。翌朝、宮之浦に入港し、レンタカーで往路ではできなかった島内ドライブと温泉を楽しむが、皆は疲れ気味のため早々に船に戻る。

5/17 (屋久島→志布志) 志布志港の奥の船溜まりに係留。間もなく海上保安庁が船検や安全備品の確認にくるが無事クリア。一方、エンジンビルジをチェックしたら真っ黒。潤滑油リークのトラブルか。YBS や鹿児島ヤンマーに確認しチェックするとフライホイール近くのオイルシールが疑わしい。修理は無理なので、エンジン負荷を下げたオイル供給を継続しながら航海することにした。

5/20 (志布志→土佐清水) オーバーナイトで室戸まで行く予定が向かい潮が強まり 3kt 台に失速。ここで時間をロスし目的地を土佐清水に変更。その後 Windy で海流モデルの確認をすると、西からの黒潮と瀬戸内海からの干満の流れが複雑に干渉し合い 1 時間ごとに潮の方向と流速が最大 ± 2 kt は変わると知った。四国と九州間は鬼門だ。

5/26、27 (五ヶ所湾→小網代) 天気の良いうちに黒潮を使ってオーバーナイトで五ヶ所から小網代まで戻ること。志摩半島沖の布施田水道を抜け針路を沖合いに向け 2 マイルほど離れると黒潮と風の両者が相まってメインセールのみで 8kt。本船に注意しながらこのまま伊豆半島を目指す。0400 正面の空が薄く青色で染まってきた。ブルーアワード。0430 ブルーの東の空の下がオレンジ色で染まり太陽が顔を出す。何度見ても息を飲む美しさだ。思わず今日も一日穏やかで良い日であって欲しいと祈る。0500 伊豆半島の山並みの上にとっすらと雲がかかり、その上に冠雪が朝の光に輝いている富士山。こちらも実に美しい。



日数	日程	出港	着港	距離	航海時間	平均船速
				NM	hr	kt
0	4月17日	月	準備日			
1	4月18日	火	小網代発	下田	48	8.0
2	4月19日	水	下田	下田		
3	4月20日	木	下田	福田	55	9.3
4	4月21日	金	福田	五ヶ所湾	72	11.3
5	4月22日	土	五ヶ所湾	串本	70	10.2
6	4月23日	日	串本	室戸岬	90	12.3
7	4月24日	月	室戸岬	土佐清水	75	11.5
8	4月25日	火	土佐清水	土佐清水		
9	4月26日	水	土佐清水	門川	69	11.2
10	4月27日	木	門川	油津	59	10.0
11	4月28日	金	油津	種子島/島間	76	11.5
12	4月29日	土	種子島/島間	種子島/島間		
13	4月30日	日	種子島/島間	屋久島/一湊	22	3.6
14	5月1日	月	屋久島/一湊	中之島	57	8.5
15	5月2日	火	中之島	悪石島/やすら浜	29	4.6
16	5月3日	水	悪石島/やすら浜	奄美大島/名瀬	65	9.1
17	5月4日	木	奄美大島/名瀬	奄美大島/名瀬		
18	5月5日	金	奄美大島/名瀬	徳之島/亀徳	57	8.4
19	5月6日	土	徳之島/亀徳	沖永良部/知名	38	6.7
20	5月7日	日	沖永良部/知名	伊平屋島	39	6.5
21	5月8日	月	伊平屋島	沖繩/宜野湾	50	7.5
22	5月9日	火	沖繩/宜野湾	沖繩/宜野湾		
23	5月10日	水	沖繩/宜野湾	渡嘉敷島	21	4.4
24	5月11日	木	渡嘉敷島	久米島/仲里	39	6.0
25	5月12日	金	久米島/仲里	沖繩/宜野湾	51	9.2
26	5月13日	土	沖繩/宜野湾	与論島/茶花	67	9.7
27	5月14日	日	与論島/茶花	奄美大島/古仁屋	87	13.3
28	5月15日	月	奄美大島/古仁屋	overnight		9.3
29	5月16日	火	overnight	屋久島/宮之浦	179	26.5
30	5月17日	水	屋久島/宮之浦	志布志	72	10.3
31	5月18日	木	志布志	志布志		
32	5月19日	金	志布志	志布志		
33	5月20日	土	志布志	overnight		
34	5月21日	日	overnight	土佐清水	143	27.3
35	5月22日	月	土佐清水	室戸岬	75	11.4
36	5月23日	火	室戸岬	室戸岬		
37	5月24日	水	室戸岬	串本	90	12.7
38	5月25日	木	串本	五ヶ所湾	70	9.4
39	5月26日	金	五ヶ所湾	overnight		
40	5月27日	土	overnight	小網代	169	23.4

今回ご参加、ご協力いただいた皆さまには心より感謝いたします。昨年のトラブルほどではないにせよ、パソコン 3 台故障でナビゲーション機能せず、エンジンオイルリーク、オートパイロット断線 2 回など人が創った便利さを自然の力で破壊され、その課題に我々がどのように対処していくかを試されました。一方で、その自然の美しさに何度となく心を癒され、生きる力を与えられました。島々の寄港地は初めてでしたが、いずれも現地に行ってみないと分からない魅力にあふれていました。望むべくは各島での滞在時間をもう少し長くすべきでした。そして今回の沖繩へのクルージングで、SP 東京が北海道から沖繩まで日本全国を訪問したことを合わせてご報告いたします。